



市長 西村和平

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、平成 28 年の新春をおだやかに迎えのことに存じます。昨年 5 月の市長選挙で、引き続き加西市政の舵取り役として信任いただき、あらためて身が引き締まる思いであるとともに、新春の朝日に決意を新たにすところでは、

播磨国風土記編纂 1300 年を記念した事業を起点に、忘れていた歴史の記憶が加西市に新しい風を運んで来ています。また、北条鉄道は、地域住民の応援のおかげで多くのテレビ電波にも乗り、30 年の歴史の中で、開業年の記録に次ぐ歴代 2 番目の輸送人員を記録しました。

美しい自然、伝統文化、祭り、遺跡、歴史的建築物等々、ふるさとは、まず心に浮かぶまちであることが大切です。加西には、その資源が豊富にあることが再認識されました。

今年は、『加西市地域創生戦略』を迅速かつ果敢に実行する年になります。「子育てにほどよい『便利な田舎』かさい」を基本に据え、東京一極集中是正に呼応した、人口増と魅力ある地域づくりを推進して行きます。農業は、新たな作物栽培や加工による 6 次産業化等、新時代に向かっていきます。鶉野地区で始まった次世代施設園芸モデル事業(トマト工場)は、オランダ型農業が加西で成功するか否かの試金石として注目されます。また、加西には先端技術、独自技術を有する優秀な企業が多くあります。次代の技術を受け継ぐ若者が集まるまちとして産業振興に努め、さらなる情報発信を行います。

安全安心なまち、そして「健幸」な人生を過ごせるまちは、人が大切にされる中心となるまちづくりです。各地区では、ふるさと創造会議の活動が活発化しています。町を越えた住民の輪が広がり重なり、五輪マークのような関係が築かれてきました。難問である地域福祉の充実の鍵も、そこにあると確信します。

ふるさと加西において、人がつながり、市や地域が広くつながる「開放的な地域コミュニティづくり」が、さらなる進化を遂げる年にしたいと考えています。

結びに、市政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



次世代施設園芸モデル団地



議長 三宅利弘

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、ご家族おそろいで、清々しい新春をお迎えのことに心からお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会の運営並びに活動に対して格別のご理解とご協力を賜っておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

日本経済はアベノミクスのデフレ脱却戦略により一定の効果が表れている中で、昨年末に TPP 交渉が大筋合意されました。今後、輸出入にかかわる関税率が大きく変革していくことは、良くも悪くも市民生活に大きな影響が今後出てくるであろうことは十分予想されます。市民の皆さまの生活環境にどのように影響してくるのか、十分注視しながら住んでよかったと思える加西市の構築に向けて議会の立場で強力に取り組んでまいります。

また、平成 22 年から議会の最高規範となる「議会基本条例」を制定して取り組んでいます。より充実した内容にするために昨年度、6 カ月をかけて検証を行い、7 項目の改正を行いました。昨年 5 月に市議会議員選挙が行われ第 13 期の市議会がスタートしています。今期議会は、政策検討会を設置して市長に対して政策提言できる議会にしていきます。そのために、議員の資質向上を図るための勉強会の開催、そして議会報告を通してより多くの方々との意見交換の場を設けてまいります。市民の皆さまのご意見をお寄せいただきたく存じます。

これからも、より開かれた議会を目指して議員一丸となってさらに取り組みを進めてまいりますので、皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、新しいこの一年が市民の皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます、年頭に当たってのごあいさつといたします。



議会報告会



教育長 高橋晴彦

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、ご健勝で静穏な新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より、教育行政の充実に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

少子高齢・人口減少社会への対応や持続可能な社会の実現など、来る将来社会の課題の克服のためには教育の果たす役割はますます重要なものになっています。

平成 27 年度からの新教育委員会制度により設けられた総合教育会議により、加西市をあげた教育による地方創生の取り組みが求められているところでもあります。

教育委員会では、新しい時代を切り拓くところ豊かで自立した人づくりを目指し、学校園・家庭・地域社会が一体となった、市民すべてが関わる質の高い教育を推進し、0 歳から 15 歳までの一貫した教育を行い、全国に誇れる「教育都市かさい」の実現を目指しているところであります。

今後の教育行政を進めるにあたりましては、教育は家庭から始まるものであることを社会全体の共通認識として「しつけ」を含めた家庭教育・幼児教育の充実に特に力を入れて取り組んでまいります。また、学校と地域が連携・協働し、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決していく体制をさらに推進してまいります。

学校環境整備では、西在田小学校が今年 2 月末に完成することで、耐震化率が 100% になります。また、幼保環境整備では、平成 28 年度に（仮称）加西こども園の建設工事を行い、平成 29 年 4 月に開設する計画で進めてまいります。

社会教育におきましては、生涯を通じた学びの充実を目指して、多様な生涯学習の整備や情報の提供と、公民館活動の充実を図ってまいります。さらに、加西市に残る多くの歴史・文化遺産の保存整備を進めるとともに、地域資源の掘り起こしと情報発信の拡充により、これらを生かしたまちづくりへと展開してまいります。

本年もより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



泉中学校の英語の授業

北条小と地域で文部科学大臣表彰

問合せ／秘書課 ☎428701 FAX 430291
hisho@city.kasai.lg.jp

「歴史ガイド隊」の取り組みが評価

北条小学校が 12 月 3 日、長年にわたり地域ボランティアとの連携・協力により学校運営や学校教育が行われてきたことが評価され、文部科学省（東京都）で文部科学大臣表彰を受賞しました。県内では北条小学校を含め、3 校が受賞されました。

特に同小では、平成 17 年に結成された「歴史ガイド隊」が、地域団体と協同して地域をまきこんだ取り組みを行ってきました。

歴史ガイド隊は、「加西市歴史街道ボランティアガイド」の指導を受けて、多くの観光客へ五百羅漢や酒見寺、住吉神社などを案内し、地域の PR をしています。また、「NPO 法人まちづくり北条」の支援を受けて、県外のガイド隊とも交流しています。



5・6 年生 19 人の歴史ガイド隊

富合小学校が社務署長より表彰

富合小学校が 12 月 7 日、同校で社務署長より表彰を受けました。管内（加西市・小野市・加東市）では、同校のみが表彰されました。

各小学校では、租税教室などを行い、税金の使い道等を学んでいます。特に富合小学校では、低学年から学習できる環境にあることが評価されました。